

経営比較分析表（平成29年度決算）

栃木県宇都宮市 相生駐車場

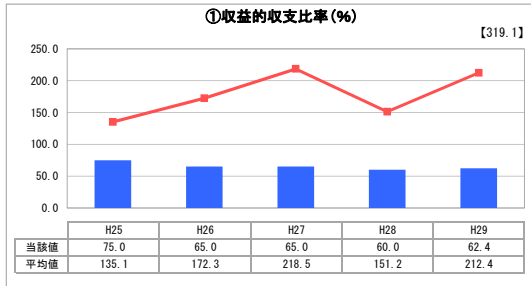
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	立体式	20	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	428
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
186	300	利用料金制

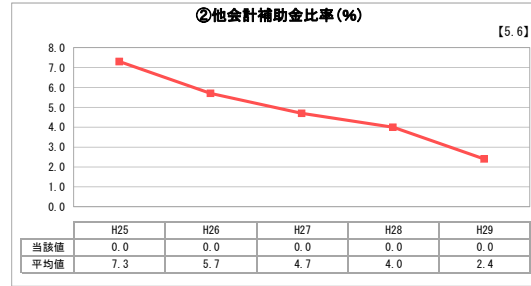
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

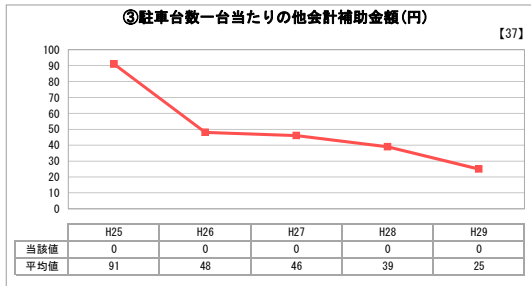
1. 収益等の状況



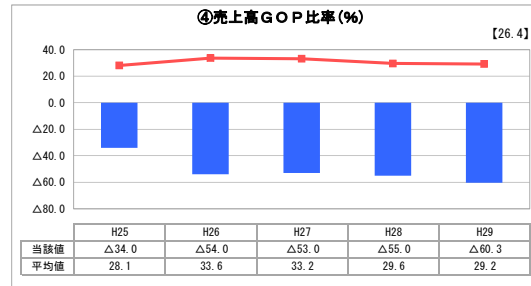
「経常損益」



「他会計補助金割合」

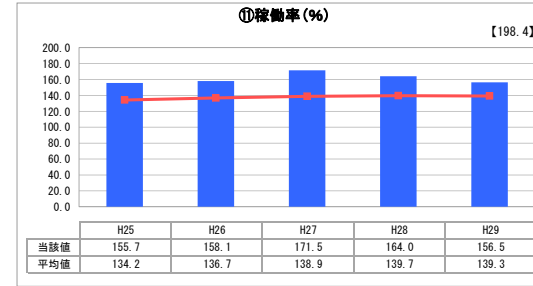


「他会計補助金額」

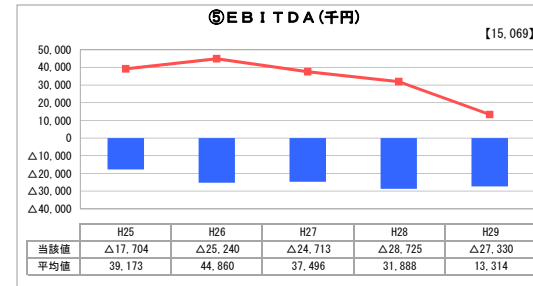


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

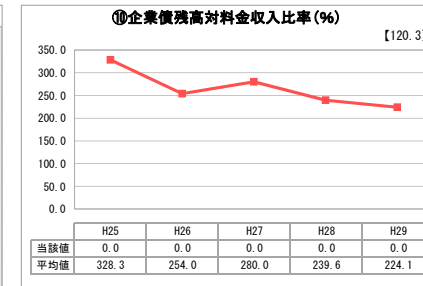
133,936

⑧設備投資見込額(千円)

3,666



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
過去数年にわたって、他会計からの繰り入れがないことから、②他会計補助金比率及び③駐車台数一台当たりの他会計補助金額の値は、ゼロで推移している。
①収益的収支比率の値は、類似施設平均値及び全国平均値と比較して低く、100%未満であることから、収支は赤字である。主な支出は、指定管理料のほか私有地の土地賃借料である。
また、④売上高GOP比率・⑤EBITDAは、類似施設平均値・全国平均値よりも低い状況である。老朽化の進んでいる立体機械式駐車場であることから、維持管理費が大きく、収益性が低下している状況である。
以上から、当該施設の新たな利用者獲得策や更なる経営効率化の検討など、経営改善に向けた取組が必要である。

2. 資産等の状況について
設備投資見込額は、3,666千円であるが、一般的に施設の老朽化が進むと、建設改良費等が大きくなっていくことから、今後は、予防保全やアセットマネジメント等の取組に努めていく必要がある。
企業債発行による借入資本金はゼロであり、⑩企業債務高対料金収入比率もゼロで推移している。

3. 利用の状況について
一般利用者にとっては、中心市街地内でのコインパーキングの増加等により、入庫時間帯の制限があり、係員の対応が必要な立体機械式駐車場の利用を回避する傾向があるものと考えられるが、類似施設の平均値と比較して稼働率が高い状況である。その要因としては、近隣大型商業施設等の定期利用のほか、一般利用者を対象とした平日限定定期の促進などにより、利用者の確保に努めてきたことが影響しているものと考えられる。

全体概括

施設単体では、経営収支が赤字で、老朽化が進み、利用者の減少傾向も見られることから、経営としては厳しい状況が続いている。
このような中、健全な経営に向けて改善を行っていくには、市民サービスの水準を維持したまま、計画的な施設更新により費用の平準化を図り、施設の更なる効率的稼働の推進等による維持管理費の削減に取り組む必要がある。